

伊吹島の情報

1 伊吹島のあらし (令和2年7月1日 現在)

位置：観音寺港より西方約10km

面積：1.05km² 周囲：5.4km

標高：121.5m

人口：456人 (男：217人 女：239人)

世帯数：249戸 イリコ漁の網元数：15軒

伊吹島



伊吹島の周辺には、3つの無人島があります。

- ① 股島 (またじま)
- ② 小股島 (こまたじま)
- ③ 円上島 (まるかみじま)

円上島には、天然記念物に指定されている貴重な岩石の「球状ノーライト (菊花石)」があります。

2 地名のいわれ

四国霊場 68 番札所「神恵院」の記録によれば、弘法大師が神恵院の住職をしていたところに、異木（外国のめずらしい木）が流れ着いたことから「異木島」といわれたとし、それがなまって「伊吹島」となったという説があります。また、別の説では、島の西海面に、海底が息をしているようにブクブクと泡がでていたため、「息吹島」から「伊吹島」になったといわれています。

3 島のことば

伊吹島の人たちが話す方言には平安時代のアクセントが残されており、大変貴重なことから、「金田一春彦」先生をはじめ多くの研究者が伊吹島にやってきました。

また、言葉にも、昔の意味が残されており、たとえば、「おまえ」は、伊吹では「御前」と書き、目上の人を呼ぶときに尊敬語として使う言葉です。



金田一春彦先生の歌碑

先生が島に来た時に詠んだ「緑濃き 豊かな島や かかる地を 故郷に持たば 幸せならん」の句が刻まれている。

4 伊吹島の行事

・ 2月、百手祭り（伊吹八幡神社）

厄年やくとしの人が中心はちまんになって、弓矢ゆみやを用いた神事しんじを行います。

・ 4月、桜まつり（波切不動尊、滝宮神社）

4月上旬の日曜日に開かれ、桜のアーチがきれいです。

・ 4月～5月、島四国めぐり（泉蔵院から西ノ堂まで）

88か所を見立てた石仏せきぶつを巡礼しゆんれいします。各所に設けられた札所で「お接待」があります。

・ 6月、でこまわし（伊吹島各所で）

イリコ漁いりこりしが始まる前に、大漁おほいしを願ってイリコの加工場で、でこまわしの門付けかどつがおこなわれます。

・ 6月、お神楽（伊吹八幡神社、荒神社）

伊吹八幡神社の神事で行うお神楽のあと、荒神社で「モドシカグラ」というめずらしいお神楽が行われています。

・ 7月、港まつり（伊吹島周辺、海上）

よべっさんよべっさん（木造えびすの恵比寿天）を乗せた御座船みまがねが、伊吹島から股島またじま、円上島まるかみじまをめぐり、お参りをします。

・ 10月、伊吹八幡神社秋季大祭（伊吹八幡神社）

神輿みこしを御座船に乘せて島をめぐったり、3台のちょうさが島を練り歩いたり、伊吹ならではの祭りです。